

Tokenbox レーティング：総合評価★★★★★

(最高評価は★★★★★、最低評価は★)

(レーティング・サマリー)

- ・Tokenboxは、ビットコインやイーサリアムなどの複数の仮想通貨に対して分散投資を行い、ポートフォリオを組んだ上で運用を行う仕組みを提供するICO企業である。
- ・Tokenboxが発行する仮想通貨であるTBXトークンは、2017年12月に仮想通貨取引所で上場する予定である。
- ・Tokenboxは11月14日から11月28日までICOを行っており、ホワイトペーパーは投資家が読みやすいように短いバージョンなども用意されている。
- ・Tokenboxには仮想通貨ビジネスにおいて長い経験を持つ経営陣が集まっており、仮想通貨関連企業などに投資を行っているToken Fundもついていることから、総合評価は★★★★★である。

(個別項目)

ビジネス・収益モデル：★★★

経営陣：★★★★

ホワイトペーパー：★★★★

投資家・流動性：★★★★

※総合評価は個別項目のレーティングを合計し、4で割った数値（小数点以下は四捨五入）。

個別項目詳細

ビジネス・収益モデル：★★★

- ・Tokenboxでは、プロのファンドマネージャーが仮想通貨に分散投資を行ってポートフォリオを組成し、個人が仮想通貨取引所で一つひとつ仮想通貨を購入するよりも効率的な運用が可能になり、運用規模も大きくなる。
- ・Tokenboxは、強固な内部管理態勢にこだわっており、コンプライアンスや法務のチェックが厳しく入る中で運用が行われ、不正が起こる可能性が低い仕組みになっている。
- ・2017年11月に入って1ビットコインの価格が7,000米ドルを超え、仮想通貨業界全体が上昇基調にある。今後、下降局面に入ってしまうと、Tokenboxが発行する仮想通貨であるTBXトークンの価格も、軟調にならざるを得ないというリスクが存在する。

経営陣：★★★★

- ・Tokenboxの経営陣は仮想通貨の運用に長年携わってきた専門家がが多く、マーケティングのスペシャリストも擁しており、今後の事業展開に必要な人員が揃っている。
- ・Tokenboxには「Managing Partner」の肩書を持つ役職者が2名おり、最高経営責任者が誰であるか分からず、この点はウェブサイトでもホワイトペーパーでも確認が取れなかった。

ホワイトペーパー：★★★★

- ・ホワイトペーパーの中でTokenboxが目指そうとしているビジネスモデル、仮想通貨の運用業界が抱えている問題などが細かく分析されている。
- ・ホワイトペーパーで投資家が必要とする内容は網羅されており、Tokenboxのビジネスを説明している短めの資料もウェブサイト上に用意されている。

投資家・流動性：★★★★

- ・TBXトークンは、2017年12月に仮想通貨取引所で上場する予定であるとウェブサイトとホワイトペーパーで説明している。ただ、具体的にどの仮想通貨取引所で上場する予定であるかの記載はなされていない。
- ・仮想通貨関連企業などへの投資を専門的に行っているToken FundがTokenboxに出資しており、外部投資家からアドバイスとモニタリングを受けながら経営が行われる可能性が高い。